

2012年
11月15日

No.153

さざなみ

〒520-2141
大津市大江6丁目23-24

浦谷貞子 気付

さざなみネット

(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)

TEL・FAX 077-545-5154

全国いっせい行動 “原発ゼロ” 声響く 県内12カ所以上でパレード、集会、講演会

11月11日、原発をなくす全国連絡会が呼びかけた「全国いっせい行動」(「11・11全国いっせい行動成功へのアピール」裏面)や、「首都圏反原発連合(反原連)が呼びかけた国会・霞が関一帯での「反原発1,000,000人大占拠」行動が取り组まれました。

国会周辺・省庁前では、雨の降りしきる中、延10万人が参加し、原発ゼロへの強い思いを示しました。

さらに運動を広げて原発ゼロを実現しようと、46都道府県で「原発なくせ」の一点での共同行動が広がりました。滋賀県内でも、12カ所以上で集会やパレード・講演会など多彩な取り組みが行われ、参加者は全県で550人を超えました。最寄りの会場に組合員が参加しました。

大津市のJR膳所駅前では、「ふくしま連帯!琵琶湖を守れ!原発ゼロへ! 11・11SHIGA行動」には、風雨のなか約150人が駆けつけ、リレートーク後、パルコ前までパレードしました。

長浜市のJR長浜駅前では、「11・11『原発ゼロ

へ』長浜集会」には、午後6時30分からで暗くなり寒い風雨



長浜駅前の集会

のなかでしたが、「ストップ!! 原発はいらない」「老朽原発を廃炉にせよ!」「なくせ原発」などのプラカードを持ち、40人以上が集まり、リレートークをし乗降客などに思いを訴えました。

東日本大震災とそれに伴う東京電力福島原発などの悲惨な事故から1年8ヵ月、原発の事故が起きたらどんな深刻な事態を引き起こすか、いよいよ明らかになりました。原発銀座の近く、関西の水がめ琵琶湖のある滋賀県では、特に緊急の課題になっています。

今度の総選挙はチャンスです。「原発なくせ」の声をさらに広げたいと思いました。

職場の声

資格試験 強制的に受験

資格試験を受けて当たり前のように受験させられています。

「自信を持って受けたいから、もう少し先に受験したい」と言っても、「皆受けるんだから」と一言です。受からなくても、受けていればよいのか、疑問です。

リスク商品の販売責任や罪の意識

「資格がないと、銀行にはいられへんで」と言われますが、資格を取り投資信託や保険などリスク商品をすすめて、お客様に損をさせるかもしれないと思うと、責任や罪の意識に悩みます。定期預金や自動振替など、本来の銀行の仕事は忘れられていくみたいです。



岩波 美智子さん 画

【アピール】(原発をなくす全国連絡会)全国各地から 「いますぐ原発ゼロへ」の声をあげ政府・国会を包みこもう ー11・11全国いっせい行動成功へのアピールー

9月13日、「原発をなくす全国連絡会」は「いますぐ原発ゼロへ 11・11全国いっせい行動」をよびかけています。また、当日に向け、福島県復興共同センターとともに、新聞への「意見広告」運動を進めています。

11月11日(日)を中心に、全国各地でデモ、集会、宣伝などの行動をいっせいに起こすこと、「いますぐ原発ゼロへ」の声を形にして政府・国会を包囲することが極めて重要な情勢です。

行動日まで一月、全国各地で取り組みが具体化されています。百万人以上が結集する大規模な行動として成功させましょう。「原発ゼロ」を求めるすべての皆様のご協力を心から呼びかけます。

毎週金曜日の首相官邸前の抗議行動は半年をこえて続いています。呼応した各地の行動も45都道府県で100か所以上に広がっています。

政府が実施した中長期のエネルギー政策をめぐるパブリックコメントでは、「いますぐ原発ゼロ」「段階的に原発ゼロ」を合わせて「原発ゼロ」を求める意見が9割を占め、「いますぐ原発ゼロ」を求める意見が8割にのびました。「いますぐ原発ゼロ」を求める国民の声は広がり、強固になっています。



しかし野田内閣は、国民の世論に背を向け、「2030年代に原発ゼロ」という不十分な方針さえ閣議決定を見送り、財界の猛反発とアメリカの圧力に屈しました。自民党の安倍総裁は、「原発ゼロ」を無責任と批判し、原発依存政策に固執する姿勢を鮮明にしました。

これらのことが反映し、10月9日には、日本電源開発が青森県・大間原発の建設を再開しました。電力会社をはじめとした「原子カムラ」の面々は、「原発ゼロ」の政策決定はないとの立場で、原発を推進しようとしているのです。

野田政権の腰砕けにも、原発に固執する自民党にも、原発推進に回帰する「原子カムラ」にも、強い抗議の声の集中が求められています。

「いますぐの原発ゼロ」の国民合意を高め、政府に決断を迫る行動を大きく起こす時を迎えています。「原発ゼロ」の決断の日まで、声をあげ続け、行動を繰り返す決意を大きな行動で示さなければなりません。

全国各地で「原発ゼロ」をめざして行動しているみなさん、原発推進勢力のまき返しを許さず、政府に「いますぐ原発ゼロ」を決断させる大きな節目の行動として「11・11全国いっせい行動」を成功させましょう。成功に向けた取り組みをさらに強めてください。

「11・11全国いっせい行動」の成功をバネに、「原発ゼロの日本」にむけた共同をさらに前進、発展させましょう。

2012年10月16日

原発をなくす全国連絡会運営委員会



国会・霞が関を埋める人々

新日本婦人の会	会長	笠井 貴美代
自由法曹団	団長	篠原 義仁
全国商工団体連合会	会長	国分 稔
原水爆禁止日本協議会	代表理事	赤松 宏一
農民運動全国連合会	会長	白石 淳一
全国保険医団体連合会	会長	住江 憲勇
日本民主青年同盟	委員長	田中 悠
原発問題住民運動全国連絡センター	筆頭代表委員	伊藤達也
日本科学者会議	代表	米田 貢
東京地方労働組合評議会	議長	伊藤 潤一
全日本民主医療機関連合会	会長	藤末 衛
全国労働組合総連合	議長	大黒 作治